

2019年度（令和元年度）事業活動報告書

法人の名称 特定非営利活動法人グリーンママ

1 事業の成果

（1）育児支援に関する事業

「みどりっこ親子の居場所はなまる」（以下はなまる）「緑区地域子育て支援拠点いっぽ」（以下いっぽ）の運営、『みどりっこカレンダー』『みどりっこひろば』を通じた子育てに関する情報の提供、緑スポーツセンター定期教室を中心とした一時託児等を行い一定の成果を上げた。

はなまるは、1月にひろばを移転した。室内の広さが狭くなったこともあり、ひろば利用者数は減少したものの、駅に近くなったことや、利用料を下げたこともあり、以前と違う形での利用は増えた。一時預かり件数は昨年度も多かったがそれ以上に増加した。

いっぽは、重点目標を、① いままで培ったネットワークを活かしながら、拠点全体として地域に出向く機会を活用し、区内全域の子育て支援がよりよいものになるようにしていく ② 拠点を知らない人や拠点の利用のない人が、拠点につながるきっかけを増やす とし、取り組みを行った。

（2）障がいのある子どもと親への支援事業

いっぽにて「気になる子のサロン」の開催、障がい理解講座の開催を行った。また、いっぽのサロン参加者からの希望を受け、はなまるでも「気になる子のママのほっとタイム」を定期開催し、母親同士が気軽に話すことができる場を増やした。

（3）児童及び青少年の健全育成にかかる事業

いっぽにて中学生・大学生のボランティアや看護学生の実習受入れを行い、これから親になる学生が乳幼児とふれあえる機会を提供した。

2 事業内容

（1）育児支援に関する事業

①「みどりっこ親子の居場所はなまる」の運営

実施日時	月～金曜日 午前9時30分～午後4時30分 土曜日（月1回）午前9時30分～午後2時30分
実施場所	みどりっこ親子の居場所はなまる
従事者	2人/1日
対象	緑区及び近隣在住の未就学児とその保護者（おもに0～3歳児）
支出額	9,898,123円（移転費用含む）
事業実績	<ひろば> 年間利用者数（大人・子ども）：3,714人（5,057人） 一日当たりの平均利用者数：17.0人（20.0人） 新規登録組数：138組（170組） <一時預かり> のべ預かり児童数：288人（252人） 総利用時間数：917.25時間（747.5時間） *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月はひろば休止

【1年間の報告】

- 1月に三保町から台村町にひろばを移転した。年度途中の移転となったため、全てのプログラム内容を見直し、スペース的にひろば内での定例開催が難しいものは中止に、他の会場を借りてできるものは年間のイベントとして開催することにした。専門的なプログラムはひろばスペースや利用者の様子を見ながらリスタートする。
- 利用料を下げた（1家族100円）ことで、他の施設利用前後の短時間での利用が増えた。また、利用料が1家族単位になったこともあり、兄弟児の利用も多くなった。
- おしゃべりタイム「幼稚園選び」は先輩ママたちに来てもらい幼稚園の様子のお話を聞く会を開催。毎年参加数も多く、お子さんも低年齢化していて、早目のリサーチをするお母さんが増えてきている。来年度はひろばスペースに合わせたやり方で開催したい。

- ・出産を控えた人向けのプログラム「マタニティタイム」に参加した人が出産後もひろばを利用し、出産後の情報交換や気持ちを共感し合う場となっている。(9人参加<昨年度19人参加>)
- ・一時預かり利用者の割合は2歳児(25%)1歳児(49%)で全体の7割強を占めている。預かりの理由はリフレッシュ(39%)・通院(16%)が多い。

②「緑区地域子育て支援拠点いっぽ」の運営

ア. 「親子の居場所事業」「子育て相談事業」「情報収集・提供事業」「ネットワーク事業」「人材育成・活動支援事業」「利用者支援事業」

実施日時	火～土曜日 午前9時～午後5時
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	7人/1日
対象	緑区及び近隣在住の未就学児とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	29,602,243円
事業実績	年間利用者数(大人・子ども): 21,122人(23,432人) 一日当たりの平均利用者数: 96.4人(97.2人) ()内数値は 前年度実績 累計登録者数(子ども): 4,884人(4,930人) 令和元年度新規登録者数(子ども): 859人(805人) 新規ボランティア登録者32人(70人)うち利用者14人(63人) 年間ボランティアのべ活動者数 535人(523人) 利用者支援事業相談件数 270件(280件) *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月はひろば休止

【1年間の報告】

- ・年度の初めの「主任児童委員定例会」「こんにちは赤ちゃん訪問員定例会」にて、いっぽ紹介の機会を設けた。子育てサポートシステムと利用者支援事業も併せて説明し、区に1か所しかない拠点としての周知の協力を依頼した。
- ・妊娠期の支援に力を入れた。講座も年2回開催した。実施に当たり、担当スタッフが区の母親教室全回を見学し、妊婦に必要な支援を改めて考えた。
- ・シニア向けボランティア説明会を開催した。男性の応募があり、ボランティア登録につながった。子どもの発達には多様な大人と接することが大切で、男性のボランティアも必要であるという説明に納得して登録してくれた。ただ、説明会への参加者は少なく、市民へのいっぽの周知が十分でない課題を実感した。
- ・ママボランティアに登録してもらい、事業のお手伝いをお願いしている(登録6名)。プログラムの見守りや、事業の企画にも携わってもらっている。
- ・利用者支援事業としては、アウトリーチにも力を入れた。ケアプラザ所長会で趣旨を説明し、年度初めに訪問の承諾をもらったので区内のつどいの広場や子育てサロンへの出張相談を行った。

実施日時	火～土曜日 午前9時～午後5時
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	3人/1日
対象	横浜市在住の0歳から小学生とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	8,758,847円
事業実績	会員数: 利用会員691人(673人) 提供両方会員229人(252人)

()内数値は 前年度実績	令和元年度入会者数:利用会員 178 人(188 人) 提供両方会員 21 人(31 人) コーディネート件数:223 件 (268 件) 実働会員数:利用会員のべ 904 人 (924 人) 提供・両方会員のべ 710 人 (768 人) 活動件数:5,677 件 (5,670 件) 入会説明会:30 回実施 249 人参加 〈うち利用会員 153 人・提供・両方会員 15 人〉(40 回 239 人) 個別説明:81 人参加〈利用会員 74 人 提供・両方会員 7 人〉(91 人) フォローアップ研修:7/8 14 人参加 交流会:6/25 8 人参加 11/8 4 人参加 11/14 4 人参加 12/6 6 人参加 2/12 10 人参加 子育てサポート通信:3 回発行 「いっぽ保育隊」:活動件数 60 件 (76 件) のべ活動者 124 人 (139 人) 保育子ども 381 人 (538 人)
------------------	--

イ。「横浜子育てサポートシステム」緑区支部運営

【1年間の報告】

- ・こにちは赤ちゃん訪問員の会議や地域ケアプラザ所長会、ケアプラザのコーディネーター会議、支援者交流会等に参加して事業についての案内と周知を行い、会員募集の協力をお願いした。ケアプラザで行われるシニアボランティアポイント説明会やボランティア交流会等でのサポート事業の周知の協力を得ることができた。
- ・提供会員獲得のためにこれまで取り組みのなかったシニア層や男性をターゲットに、老人クラブやシルバー人材センター等にも事業の周知を行ったが、子育てに関わりのない世代へのサポート事業の周知がまだ足りないことを実感した。来年度はターゲットを絞った広報の仕方、方法を工夫していきたい。
- ・サポートでの紹介が厳しいケースを子育てパートナーとも共有、検討し、区社協や地区社協、ケアプラザとも連携、協力し養育者の支援に活かすことができた。また地域につながる足掛かりを得ることができた。
- ・会員交流会や利用会員対象のリフレッシュ講座等を開催し、会員とのコミュニケーションをとる機会を持ち子育てサポートシステム事業の理解や活動の意義を深めてもらうことができた。また、交流の中で会員の声を聞き取り、コーディネート等に活かすことができた。会員同士のより良い関係作り、活動につながるように会員と事務局のコミュニケーションを深めることに引き続き力を入れていきたい。

③子育てに関する情報の発信・提供

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	4 人
対象	緑区および近隣の未就学児とその保護者
支出額	1,314,369 円
事業実績	『みどりっ子カレンダー』:毎月 1000 部発行、掲載園 27 園、配布先 45 か所 『みどりっこひろば』:随時情報更新 『みどりっこひろば』メールマガジン:毎月発行 534 人登録(前年度 504 人) 『みどり子育て応援ガイドブック』改訂版編集

【1年間の報告】

- ・区内の保育施設の地域開放事業を紹介する『みどりっ子カレンダー』では、今年度も掲載園が増え、保育園 22 園、幼稚園 5 園となった。
- ・インターネットで区内の子育て情報を提供している『みどりっこひろば』では、イベントカレンダーの掲載件数が増えている。
- ・緑区が発行する『みどり子育て応援ガイドブック』の改訂版の編集を行った。

④集団出張保育

実施日時	通年
実施場所	緑スポーツセンターほか
従事者	登録スタッフ 26 人
対象	緑区および近隣区の子育て中の保護者とその子ども

支 出 額	312,576 円
事業実績	定期託児：38 回実施、保育した子どものべ 140 人、スタッフのべ 96 人 （前年度 43 回 保育子どものべ 116 人 スタッフのべ 88 人） 出張保育：17 回実施、保育した子どものべ 85 人、スタッフのべ 42 人 （前年度 7 回 保育子どものべ 18 人 スタッフのべ 15 人） お話し会：コスモスフェスタ出演

【1 年間の報告】

- ・ 緑スポーツセンターの定期教室は、新型コロナウイルスの影響により、3 月はキャンセルとなった。
- ・ 国際交流団体「オリーブみどり」から講座時の保育を受けた。いっぽぼを利用する外国人の母親へ講座を案内し参加を促し、当日の保育も担当した。
- ・ 緑区制 50 周年事業「みどりアートパークオープンディ」イベント「木村真紀&スイミーといっしょに歌ってつながろう！」の練習日 5 回の同室見守り保育を担当した。

⑤地域に向けた子育て支援の促進事業

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽぼほか
従事者	3 人
対象	緑区および近隣区の子育て中の保護者とその子ども
支出額	266,081 円

【1 年間の報告】

- ・ 緑区こども家庭支援課より受託している「赤ちゃん教室」中山会場、長津田会場の運営を行った。
- ・ 地域の連絡会等に参加し、区内で子育て支援を行う法人として、子育て家庭の現状を伝え、理解をすすめている。また、様々なジャンルの他団体との連携を図り、法人が行うそれぞれの事業をより充実したものにつなげている。

<参加している緑区内の委員会・団体等>

- 「緑区要保護児童対策地域協議会」いっぽぼ、はなまるともに参加
- 「緑区防災ネットワーク運営委員会」（松岡美子）
- 「十日市場中学校地域交流事業実行委員会」世話人（松岡美子）
- 「十日市場こどもの居場所作り検討委員会」（松岡美子）
- 「よこはま次世代地域交流型住宅整備運営事業者選定委員」（松岡美子）
- 「緑区地域施設間連携会議」（松岡美子）
- 「緑区生活困窮者自立支援制度定例支援調整会議」（松岡美子）
- 「十日市場施設間連携会議」（松岡美子）
- 「みどり障がい児者ネットワーク」幹事（松岡美子）
- 「横浜創英大学研究倫理審査委員会委員」（松岡美子）
- 「緑区市民活動支援センター運営委員会」（松浦千恵）
- 「子育てひろば全国連絡協議会」正会員
- 「十日市場自治会」特別会員
- 「新治西部地区社会福祉協議会」会員
- 「緑区社会福祉協議会 N P O 等分科会」参加

<市域の活動>

- 「横浜市市民協働推進委員会」委員（松岡美子）
- 「横浜市地域子育て支援拠点ネットワーク」（松岡美子）
- 「よこはま一万人子育てフォーラム」（松岡美子）

(2) 障がいのある子どもと親への支援事業

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽぼ、みどりっこ親子の居場所はなまる
従事者	4 人

対 象	緑区および近隣の未就学児及び小学生とその保護者、子育て支援に関わる人
支 出 額	30,474 円
事 業 実 績	気になる子のサロン 年間 11 回実施 88 人（大人 49 人・子ども 39 人）参加（ミニ講座・イベント含む）（前年度 14 回実施・178 人参加） 気になる子のママのほっとタイム 年間 9 回実施 19 人（大人 16 人＋先輩ママ 3 人・子ども 4 人）参加（前年度 12 回実施・29 人参加）

【1年間の報告】

- いっぽにて、毎月「気になる子のサロン」を実施。子どもの発達に不安や心配のある保護者同士が、肩の力を抜いて話ができる場となっている。乳幼児期から青年期までの子どもを持つ保護者が参加。参加していた親が先輩として話しを聞いたり、情報交換できる場ともなっている。
- はなまるにて 2018 年度後期から行っている「気になる子のママのほっとタイム」は、利用者の要望で始まった。親の不安を吐き出したり、利用者同士で情報交換や制度等の相談をしあう場となった。継続して参加する人が先輩ママの立場で発言する場面もある。秋に「就園・就学に向けて先輩ママとお話ししませんか？」を企画し先輩ママの体験談を聞きながら、悩みについて話したり交流するきっかけとなった。
- 「障がい理解講座」として「保育、療育、教育の中で 子どもと家庭への支援とは？」 講師：星山麻木さん（明星大学教育学部教授）の開催を 3 月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

（3）児童及び青少年の健全育成にかかる事業

実 施 日 時	通年
実 施 場 所	緑区地域子育て支援拠点いっぽほか
従 事 者	3 人
対 象	地域の中学生・高校生、福祉・子育て関連職に就く者
支 出 額	0 円（主にいっぽの事業の中で行った）
事 業 実 績	中学生ボランティア 16 人 高校生ボランティア 4 人 大学生ボランティア 4 人 学生ボランティアのべ活動人数 111 人 インターンシップ受入れ 6 人 大学等実習受入れ 50 人

【1年間の報告】

- 中学生・高校生・大学生のボランティアを受入れ、乳幼児とのふれあいを通して青少年の健全育成につなげた。
- 「十日市場中学校地域交流事業」に参加し、近隣にある中学校との交流を盛んにし、ボランティアや職業体験の場としての受入れを行った。
- 十日市場中学校 1 年生と霧が丘学園 8 年生への職業講話「NPO 法人グリーンママによる地域子育て支援」を行い、子育て支援の必要性の理解へとつなげた。
- 玉川大学教育学部インターンシップ、看護学校（横浜創英大学、横浜実践看護専門学校）「母性看護実習」を受入れ、専門職に就く者に実践の場を提供するとともに、子育ての実際を間近で見ることで将来の自身の子育てについて考える機会をつくった。